

記号
国
番号

検査IV 国語 解答例

【一】 問一 各2点 問二 12点 問三 12点 問四 各2点 問五 12点  
 問六 4点 計60点

問六	問五					問四	問三					問二					問一				
ア、イ	「	が	と	て	日	ア	る	描	だ	あ	に	動	は	の	分	物	る	生	里	①	
	あ	一	す	き	本		×	こ	く	「	る	描	物	別	軋	け	の	場	物	山	謀反(叛)
	い	変	る	た	人	イ		と	卓	を	い	く	を	物	轢	、	暮	所	多	は	②
	だ	し	西	が	の		か	越	つ	は	鳥	写	だ	を	間	ら	で	様	、		
ア、イ	「	、	洋	、	感	×	ら	し	な	動	獣	実	と	緩	に	す	も	性	人	いんせい	
	と	山	の	近	性		も	た	ぐ	物	戯	的	い	和	緩	場	あ	の	間		
	し	や	自	代	は		優	も	在	で	画	に	う	し	衝	所	る	高	も		
	て	海	然	化	、	ウ	れ	の	在	も	は	、	こ	よ	地	を	の	い	野	③	
	の	の	観	に	自		た	で	を	人	、	し	と	う	帯	コ	に	場	生	えんこん	
	機	神	が	伴	然	○	も	、	「	間	動	か	。と	を	ア	対	所	動			
	能	聖	流	い	と		エ	の	後	見	で	物	も	す	置	と	し	で	物	④	
	が	さ	入	、	一	×		だ	世	立	も	で	人	る	く	し	て	、	も	網	
	失	や	し	自	体		と	に	て	あ	も	間	も	こ	て	、	ハ	利			
	わ	、	、	然	に		言	影	「	る	人	ら	の	と	人	M	レ	用			
	ア、イ	れ	里	風	を	な	オ	え	響	、	と	間	し	で	に	間	A	と	し	⑤	
		た	山	景	征	っ		る	を	生	い	で	く	あ	よ	の	B	ケ	、		放棄
		か	や	の	服	て	○	か	与	き	う	も	感	り	っ	生	は	の	出		
		ら	里	読	の	発		ら	え	生	「	な	情	、	て	活	野	間	会		
		。海	み	対	達	。て	き	あ	い	豊	両	両	圏	生	に	う					
		の	方	象	し	い	と	い	、	か	者	者	と	動	あ	、					

記号
国
番号

検査Ⅳ 国語 解答例

【二】 問一 1点×2＝2点 問二 2点 問三 完答3点 問四 2点 問五 5点  
 問六 2点 問七 6点 問八 6点 問九 2点 計30点

問一	(Ⅰ) いらえ	(Ⅱ) しそく(ししょく)	問二	オ	問三	イ、ウ	問四	ア
問五	宮は、光源氏がこつそりと隠しておいて放った螢の光が、ほのかに玉鬘を照らしていたことに対し、見事だと思つた。							
問六	いとよくすきたまひぬべき心まどはさむ							
問七	鳴く声も聞こえぬ螢の光でさえ、人が消そうとしても消えるものではありません。まして私の胸に燃える恋の火は、どうして消すことができましようか、いや消せません。							
問八	玉鬘が「声には出さずひたすら身を焦がしている螢の方が口に出すよりもつと深い思いでいるでしょう」とさりげなく返事をして奥に引つ込んでしまつたため、宮は自分をよそよそしくあしらう玉鬘の態度に傷ついたので。							
問九	イ							

【三】 問一 各2点×2＝4点 問二 5点 問三 4点 問四 2点 問六 2点 問七 7点 計30点  
 (1) 3点 (2) 3点

問一	①	ついに	④	のみ
問二	天に地にも	地に存在すも	過失はあり、人間はその天と地	
問三	過失を改め	正常の	状態に復帰する	方法。
問四	(1) それあにちげんならんや。 (2) それがどうして道理をわきまえた言葉であると言えようか、いや言えない。			
問五	今	従事		
問六	且如下人有財見篡於盜、已而得之、			
問七	過ちを犯して本性を喪失して、過ちを改め	本性を犯して本性を喪失して、過ちを改め		